

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
花車ビル南館 〒450-0002
電話 052-581-1013
FAX 052-586-5680
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
取引銀行 三菱UFJ銀行 柳橋支店
普通口座731-677
発行人 中根生弥
編集人 武山純也

No.453 目次

- ◆愛知県臨床検査標準化協議会(AICCLS)の
発刊物を持ち込んで……………(2)
- ◆2019年度管理運営研修会に参加して…(3)
- ◆生物化学分析検査研究班
基礎講座に参加して……………(4)
- ◆尾張南地区研修会……………(4)
- ◆地区だより……………(5)
- ◆2019年度愛臨技 スキルアップ研修会…(6)

精度管理事業部の活動について

精度管理事業部 部長 菊地 良介

2017年6月、医療法等の一部を改正する法律が可決され、品質・精度の基準が医療法上に明記されることとなりました。そして、2018年12月1日には「医療法の一部改正」が施行されました。先輩方と時代の変遷にお膳立ていただいたこの“変化”を活かすことができるよう、精度管理事業部は愛知県下の会員の皆さまの良き相談相手として歩んでいけるよう事業を推進していきたいと思っております。

さて、本年度の愛知県臨床検査精度管理調査は、過去最多となる148施設からの参加申込みがありました。昨年度同様クリニックや診療所といった、従来あまり参加されていない施設からもご参加頂きました。

是非、来年度以降も多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

本らぼニュースが皆様のお手元に届く頃には、本年度の精度管理調査・結果検討会も終わっていることと思います。この検討会は、全国の都道府県技師会で唯一、愛知県だけがシステムのかつ継続的に実施しているサポート事業であり、2020年度につきましても継続して行なっていきます。

また、2020年度は新たに遺伝子・染色体検査部門及び生殖医学検査部門の外部精度管理調査立ち上げを行います。これにより、愛臨技9研究班11部門すべての領域で外部精度管理事業が開始される見込みです。さらに、血液検査部門では凝固分野のサーベイ、一般検査部門では尿定性検査の全項目実施の検討を開始します。今後より一層、現場のニーズに合わせた外部精度管理調査を提供していきます。

精度管理調査には多くのマンパワーが必要です。また、評価に関する目標値設定には各試薬メーカーの協力が不可欠です。そのほか、各研究班班員のご助言で設問作成や評価設定に協力いただいております。精度管理事業部員だけではなく、さまざまな方面からのご尽力をもって精度管理調査を実施させていただいております。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

最後に、本年度の活動も残すところ総括集発行と精度管理報告会の開催となりました。本年度の報告会は2020年3月8日(日)に名古屋第一赤十字病院で開催致します。愛臨技精度管理事業部一同、多数のご参加を心よりお待ちしております。

愛知県臨床検査標準化協議会(AiCCLS)の発刊物を持ち込んで

愛知県臨床検査標準化協議会
愛知医科大学病院 佐野 俊一

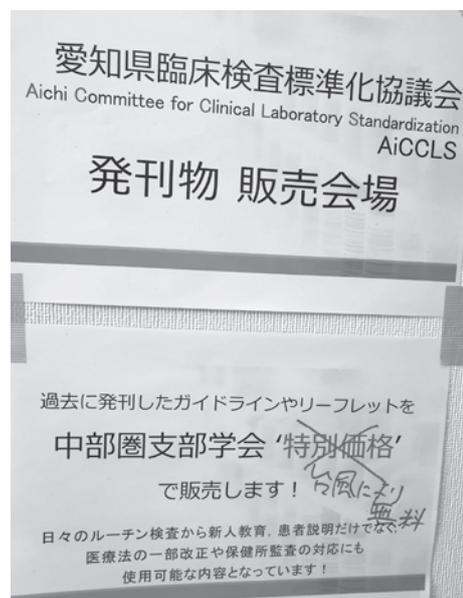
日本列島がラグビー W杯一色に染まっていた2019年10月12日(土)・13日(日)、令和元年度日臨技中部圏支部医学検査学会(第58回)が岐阜、長良川国際会議場で開催されました。我々は、7月の愛知県医学検査学会に引き続き、段ボール8箱分の発刊物(標準化ガイドライン、リーフレット、アトラス等12種類、各200セット)を学会会場へ持ち込み、展示販売を計画しました(100円~500円/冊)。しかし当日は台風19号の影響で参加者が少ないこと、企画の早期切り上げが予想されたため、急遽、無償配布に切り替えました。

愛知県ではお馴染みのAiCCLS発刊物ですが、他県の会員には刺激的で、非常に興味深かったようで、「これ、技師会の班員が作ったの?すごい!」、「愛知県の皆さんはホント熱心でうらやましい。」などうれしいお言葉をかけてもらいました。また、宮島

喜文日臨技会長にもお立ち寄りいただき、ガイドラインを手にとって、「愛知県の活動はよく知ってるよ。他県にはないこの組織、頑張ってくださいね。」と激励を受けました。

医療法が改正され、検査の精度の確保がますます重要になっています。

AiCCLS発刊物には精度を確保するための情報がたくさん盛り込まれています。是非、ご活用下さい。



2019年度管理運営研修会に参加して

西尾市民病院 鈴木 更織

2019年10月26日(土)に2019年度管理運営研修会がスズケン名古屋支店 2階会議室にて開催されました。今回の研修会は、ささえあい医療人権センター (COML) の理事長 山口育子先生が「信頼される医療者とは一患者の思いを受け止める」というテーマで講演されました。なお、COMLは患者の自立と主体的な医療参加、そして患者と医療者のよりよいコミュニケーションを目指している団体です。

講演の中の一つである“病院探検隊”は改善の提言・提案を行い、患者の視点を生かした改善に役立てられており、要請依頼をした参加施設からの感想なども聞く事ができ大変興味深い内容でした。

最近の相談者の意識と傾向は、徹底追及と遠慮・我慢の姿勢の二極化があり、メディアの報道内容に左右されがちで自己決定が出来ず、相談より判断を求めるケースが多く、コミュニケーションに悩む回帰現象が起こっています。

相談内容は“症状(精神疾患)について”が増え、コミュニケーションの取り方・説明不足、ドクターへの不信、その他の医療者への不満等が寄せられています。どんな事でも医者に聞くというスタイルがまだまだ根底にある事を気付かされ、患者も病気を治すチームの一員であるという認識が求められています。

ドクターへの苦情では、対応がいい加減、話や思いを聞いてくれない、結果に納得がいかない、暴言・プライバシーの侵害、そして一番多いのが“説明不足”です。詳しい専門的な説明を長時間丁寧に行っても患者や家族側は“一部しか記憶に留まらない”、“解らない”となり、理解できなかったことは「聞いていない」となってしまいます。インフォームド・コンセントは、十分な説明と患者の理解があってこそ情報の共有であると言えます。患者の理解を深めるポイントは何が理解できていないかの確認を行い、理解・解釈内容を患者自らメモを取ってもらう事や簡単な説明書を渡し、それを基に大切な事項に線を入れて貰うといいと思います。医療者として患者の心に寄り添い、会話のキャッチボールをし、より良いコミュニケーションをとるように心掛けたいです。

最後に医療者に望むコミュニケーションの基本は笑顔(どんな表情で患者と向き合っているかの表情チェック)、まなざし(視線を合わせる努力をする)、ことば(一言添える配慮)であると教えて頂き、先生の大変分かりやすい説明に深く感銘を受けました。

管理運営研修会を開催して下さった方々に心より御礼申し上げます。



今回は豊川市を東西に貫く姫街道沿いを中心に豊川市を紹介していきたいと思います。

[姫街道]

豊川市の御油宿から磐田市見附宿を結ぶ街道です。呼称の由来は、東海道の本道である新居（今切）の、関所での取り調べ、舟での渡海、もしくは「今切」の語の縁起が悪いことを嫌って利用した女性が多かったため。などの説があります。

[御油の松並木]

『東海道中膝栗毛』の中で、弥次さん喜多さんがキツネに化かされたという松並木が愛知県豊川市御油町にある御油の松並木。旧東海道・御油宿から赤坂宿の間は600mにわたって松の大木が立ち並んでいます。旧東海道の中で唯一、国の天然記念物に指定される松並木となっています。

[豊川海軍工廠平和公園] [豊川市民病院]

豊川市の地図をみると市役所近辺に真四角に区切られた一角が存在します。

ここはかつて東洋一の兵器工場とも称された豊川海軍工廠があった場所で、昭和20（1945）年8月7日の空襲で二千五百人以上が犠牲となるなど、悲しい歴史を刻んだ場所でもあります。公園内には、歴史の生き証人である海軍工廠の火薬庫や信管置場などの戦争遺跡や海軍工廠の歴史などを紹介する平和交流館があります。この公園を訪れ過去の歴史を学び、平和の尊さについて考えてみませんか。

我が豊川市民病院も豊川海軍工廠の付属施設だった「豊川海軍共済病院」で使われた設備、備品などを再利用していた過去もあります。2013年5月八幡町に移転。姫街道沿いにあります。

[豊川稲荷といなり寿司]

豊川市といえば豊川稲荷。ご存知のかたも多いでしょう。ですが神社ではなくお寺です。正式の寺号は妙巖寺（みょうごんじ）。詳しくは「円福山 豊川閣 妙巖寺」と称する寺院です。豊川



稲荷は妙巖寺の境内に鎮守として祀られた「豊川吒枳尼真天」の通称です。

商売繁盛などを願う参拝客ら年間約500万人が訪れ、全国的に知られています。その豊川を代表するグルメのひとつに「豊川いなり寿司」があります。B級グルメの祭典・B-1グランプリにも毎年出場し、全国にその名を広めつつある「豊川いなり寿司」。豊川市では、いなり寿司の上に愛知県名物のみそカツを載せたものや、鰻の載せたものなど、創作いなり寿司も多くのお店で販売しています。みなさんも一度豊川稲荷を訪れ「豊川いなり寿司」を味わってみてはいかがでしょうか？



2019年度愛臨技 スキルアップ研修会

『パニック値に迫る！あなたはこの患者を帰せますか』

【日時】 2020年1月26日(日) 9:00～16:50 (8:30から受付)
 【会場】 名古屋市立大学医学部医学研究科・医学部研究棟11階 講義室A
 【募集人数】 150名
 【参加費】 会員 2,000円 他県会員 2,500円 非会員 4,000円
 【申し込み】 2019年12月15日から2020年1月15日まで 日臨技HP 会員専用サイト から事前
 申込。非会員の方は下記問い合わせ先まで直接ご連絡ください。
 【生涯教育】 専門 20点
 【内容】 専門分野のコメンテーターが「パニック値に関する疾患」2症例をみなさん
 と一緒に読み解いていきます。奮ってご参加ください。

【症例検討コメンテーター】

豊橋市民病院	山本 優
一般社団法人 半田市医師会健康管理センター	青木 岳史
名古屋掖済会病院	花井甲太郎
愛知医科大学病院	山口 京子
社会医療法人大雄会 総合大雄会病院	鈴木健太郎
JA愛知厚生連 江南厚生病院	船橋 里奈
医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院	磯部 勇太

【プログラム】

8:30～9:00 受付

9:00～9:10 オリエンテーション・開講式

9:10～10:10 司会 春日井市民病院 臨床検査技師室 神野 洋彰
 講演「血液ガス検査で大切なポイント」

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株)血液ガス学術部 横山 稔

10:20～12:10 症例1「パニック値に迫る！」

司会 名古屋大学大学院医学系研究科 鈴木 博子

12:25～13:25 司会 名古屋第二赤十字病院 医療技術部臨床検査科 岩田 英紘
 ランチョンセミナー
 「遺伝子検査・ゲノム医療の基礎から遺伝子パネル～情報検索～」

株式会社エスアールエル マーケティング部マーケティング企画課 担当課長 中條 聖子

13:40～15:30 症例2「パニック値に迫る！」

司会 豊橋市民病院 中央臨床検査室 内田 一豊

15:40～16:40 司会 JA愛知厚生連 安城更生病院 臨床検査技術科 岡田 元
 特別講演「アレルギーと検査結果(アナフィラキシーを中心に)」
 藤田医科大学ばんだね病院 小児科 助教 森 雄司

16:40～16:50 閉講式

問合せ先 豊橋市民病院 中央臨床検査室 内田 一豊
 TEL: 0532-33-6111